

こうふ町 議会だより

町勢
世帯数/1,172世帯
人口/3,761人
(平成19年2月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



笑う門に福来たる

(下蚊屋荒神神楽)

一般会計	4,172万円増額	2 P
一般質問	町政を問う	4 P
所管事務調査報告	・ 地方行政調査報告	8 P

12月定例会

一般会計4172万円増額 予算総額36億6131万円に

平成18年12月定例会は14日に招集され会期を19日までの6日間と定めて開かれた。

今回の定例会には、平成18年度の一般会計補正予算と特別会計補正予算、副町長の定数に関する条例の制定、収入役を置かない条例の廃止。

鳥取県後期高齢者医療広域連合規約の協議、土地改良事業（元気な地域づくり交付金）等18議案が提出された。

慎重に審議しいずれも原案のとおり可決した。15日の本会議では4名の議員が一般質問に立ち活発な議論がかわされた。



道路災害復旧工事（柿原地内）

補正予算 一般会計

平成18年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ4172万円増額し、予算総額を36億6131万円としました。

- 主な内容**
- 総務費** 1295万円増額
- コミュニティ助成補助金増、県知事、県議会議員選挙費の計上。
- 民生費** 3016万円増額
- 社会福祉総務費への繰入金
- 衛生費** 103万円減額
- 児童福祉扶助費等の増
- 土木費** 25万円増額
- 道路修繕料、自動車借上料等の増
- 消防費** 98万円増額
- 除雪委託料他の減
- 団員退職金、車載無線機購入費等の増
- 農工費** 304万円増額
- 中小企業小口融資貸付金増
- 同和地区中小企業特別融資貸付金減
- 土木費** 25万円増額
- 道路修繕料、自動車借上料等の増
- 消防費** 98万円増額
- 除雪委託料他の減
- 団員退職金、車載無線機購入費等の増

教育費

- 17万円増額
- 事務局職員の時外手当の減
- 社会教育総務の職員手当の増
- 災害復旧費 119万円増額
- 梅雨前線豪雨災害復旧事業補助金減
- 災害復旧工事請負費増
- 公債費 155万円増額
- 償還金利子及割引料減
- 諸支出金 66万円増額
- 財政調整基金積立金及公共施設等建設積立金増
- 予備費 96万円増額

介護保険事業特別会計

- （保険事業勘定）**
- 30万円増額
- 電算保守委託料・居宅介護サービス計画給付費増、地域密着型介護サービス給付費減
- 介護老人保健施設 特別会計 80万円増額
- 利子償還金増
- 笠原市民農園特別会計 21万円増額
- 建物修繕費増、浄化槽保守点検委託料減
- 簡易水道事業特別会計 2553万円減額
- 水道施設整備費減
- 農業集落排水事業 特別会計 99万円減額
- 予備費減

条例の一部改正

- 協議会組織の委員名を助役とあるを副町長に変更。
- ▼江府町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 助役とあるを副町長に変更。
- ▼江府町税条例の一部改正
- 徴税吏員、町長又はその委任を受けた町吏員とあるを町職員に変更。
- ▼江府町公有林野官行造林条例の一部改正
- 条例中の町吏員とあるを町職員に変更。
- ▼江府町に収入役を置かない条例（平成11年江府町条例第26号）は廃止。
- ▽江府町奨学資金貸与条例（昭和36年条例第13号）は廃止。

後期高齢者医療について

鳥取県後期高齢者医療広域連合規約を制定する協議を議決
主な内容
事務所位置 湯梨浜町東郷庁舎内
議員定数13名で市議会

土地改良事業

町村議会の議長で構成
処理事務、被保険者の資格管理、医療給付、保険料の賦課に関する事務他、（保険料徴収、窓口業務は市町村が実施）
市町村の負担金（均等割10%、人口割40%、高齢者人口割50%）施行日
は知事の設立許可日
元気な地域づくり交付金（基盤整備促進）事業
施工位置 江府町貝田
農業用排水施設
延長1074m、波状
ポリ管φ600mm
事業費4798万円
平成17年～20年で施行

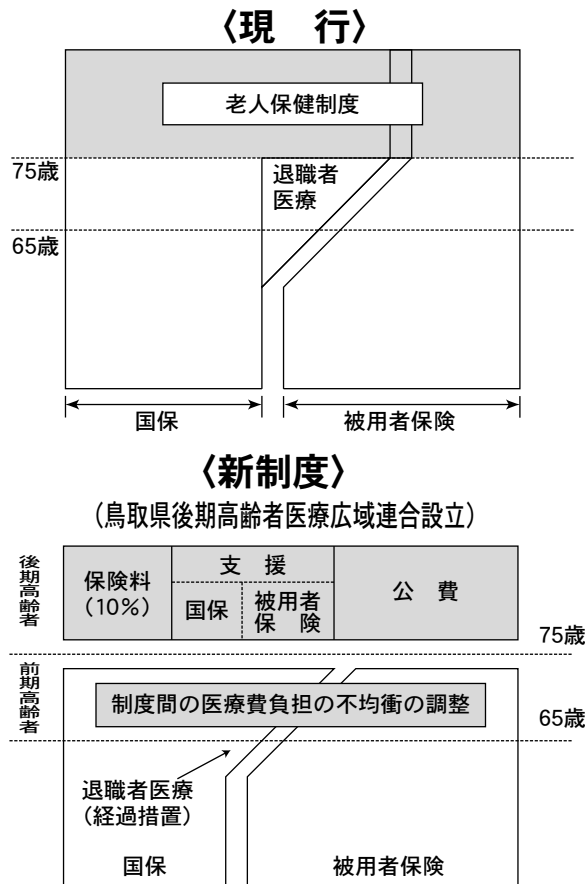
特別会計

- 国民健康保険特別会計（事業勘定） 117万円減額
- 予備費の減
- 国民健康保険特別会計（施設勘定） 2798万円増額
- 一般会計繰出金・臨時医師賃金・医療用機器購入費増

条例改正

- （は地方自治法改正による）
- ▼江府町副町長の定数に関する条例の制定
- 4月1日から助役が副町長に変わる。
- 副町長の定数は1人。
- ▼江府町国民保護協議会

新たな高齢者医療制度の創設（平成20年4月施行）





江府中学校

【質問】 現在の郵便局の状況を見ると、地方のいじめではないか。いじめは色々な所で起きている。清水寺の管長が「命」という文字を書かれたが、もっと遊ばなかったのもっと勉強しなかったのに、お父さん、お母さんありがとう、と言って自殺していった。子供たちの遺言を読んだ時、涙が出てきた。

【質問】 現在の郵便局の状況を見ると、地方のいじめではないか。いじめは色々な所で起きている。清水寺の管長が「命」という文字を書かれたが、もっと遊ばなかったのもっと勉強しなかったのに、お父さん、お母さんありがとう、と言って自殺していった。子供たちの遺言を読んだ時、涙が出てきた。

【町長答弁】 いじめ問題で、保育園の現状ではいじめはないと報告を受けている。意見活用方法について、意見を集約していきたいと考えております。

【町長答弁】 いじめ問題で、保育園の現状ではいじめはないと報告を受けている。意見活用方法について、意見を集約していきたいと考えております。

【教育長答弁】 いじめの定義は、特定の個人に対して継続的、身体的、心理的な攻撃を加え、相手に深刻な苦痛を味わわせるものである。町内の小、中学校でも大なり小なりのいじめはあるが、そのために児童、生徒が学校を休んでいる状況はない。各学校で、いじめの対応マニュアルを作成し、学期ごとに教育相談、児童生徒の面談

一般質問

問	小学校統合等による旧校舎の利活用は
答	検討会議、地域住民の意見等を踏まえて対応する

【質問】 少子化に伴い、21年春の小学校の統合が計画されているが、従来の廃校、休校と統合による旧校舎の利活用について、例えば社会教育施設等コミュニティセンター的な利活用について町長に伺う。

町長答弁

小学校統合につきましては、21年春ということでは、計画し準備を進めております。旧校舎はそれぞれ学区の地域シンボルであり、文化、活性化の中心でありました。この休校活用につきましては、大きな江府町の課題であります。これを受けまして、18年10月に本町職員により庁舎内に廃校舎活用検討会議を立上げ、基本方針をまとめるため、鋭意協議を重ねておると



小学校の活用と地域の掘起しは

日野尾 優

【質問】 少子化に伴い、21年春の小学校の統合が計画されているが、従来の廃校、休校と統合による旧校舎の利活用について、例えば社会教育施設等コミュニティセンター的な利活用について町長に伺う。

【町長答弁】 いじめ問題で、保育園の現状ではいじめはないと報告を受けている。意見活用方法について、意見を集約していきたいと考えております。

【質問】 「知恵とアイデアを競う時代」へと構造を改革する必要がある。自ら考え、自ら行う地方自治の原点にたつて、地域づくりの一石を投ずべきであるが、客観現状（自然、立地、資源等）を正確に把握し、例えば水関連付加価値産業の起業等、地域の特異性を見出すことが必要と考えるが具体的対策を伺う。

【町長答弁】 今、大山、蒜山地域を対象に進めている国交省の観光未来事業があります。これは町外の方から江府町の自然環境のすばらしさ、魅力を感じて進



俣野小学校（平成6年2月完成）



いじめはあるという認識の中で

田中 幹啓

問	保育園・小学校・中学校のいじめの実態は
答	いじめのない学校をめざす

内容だ。一人が困ればみんなで助け、一人の問題をみんなで考え、一人の喜びをみんなで喜び、肩をたたき合いながら進む僕達。一人の足りないところは、みんなで補い、一人が進めば、みんなが進む。このメッセージは、子供の心にも残っているということである。現在江府町は、財政の厳しい町ではあるが、みんなを助け合い、心豊かにして差別のない、いじめのない町こそ、本町の目指す方向ではないか。

【教育長答弁】 いじめの定義は、特定の個人に対して継続的、身体的、心理的な攻撃を加え、相手に深刻な苦痛を味わわせるものである。町内の小、中学校でも大なり小なりのいじめはあるが、そのために児童、生徒が学校を休んでいる状況はない。各学校で、いじめの対応マニュアルを作成し、学期ごとに教育相談、児童生徒の面談

【町長答弁】 いじめ問題で、保育園の現状ではいじめはないと報告を受けている。意見活用方法について、意見を集約していきたいと考えております。



西部広域行政管理組合灰溶融施設(伯耆町)



西部広域行政管理組合リサイクルプラザ(伯耆町)

問	ごみ処理で経費削減を
答	PRを行い削減に努める



ごみ処理対策について

上原 二郎

質問 平成16年のごみ処理費用が7900万円だが、一人一日100gのごみを減らせば、年間1000万円の経費削減ができる。

19年度の予算は12%減という厳しい財政状況の中、住民の協力と行政の知恵で大きく経費の削減ができるごみ対策は、今本腰を入れて取り組む課題と思う。

ごみ処理の基本的な考えは、まずごみを出さないことです。

次に、どうしても出るごみの処理方法だが、現在リサイクルされるごみは約20%で、残りは焼却場です。そのうちの80%は、リサイクル可能な紙や布などで固形燃料として再資源化できるものです。

残りの生ごみ125トンやボカシなどの処理を行えば、焼却場はいらなくなり大きなコスト削減になる。くぬぎの森の焼却場は、平成24年に償還が終わるが、施設の次をどうするか決めなければならぬ。ごみ処理に対する考えを伺う。

町長答弁

ごみ処理にかかる経費は、平成17年度、負担金として1億738万円で、そのうち西部広域に4824万円、3町衛生組合に5913万円支払っています。

西部広域の負担金は不燃物処理費、最終処分費、溶融処理費です。3町衛生組合の負担金は均等割と搬入量で決まります。人口割だったものを搬入量での負担に変更しました。



可燃ごみ焼却場くぬぎの森 (下黒坂地内)

ごみの減量化に影響のある負担は1000万円ほどです。可燃ごみを減らせばその中で節減が可能です。

今後、生ごみの収集や、処理方法について、先進地や技術などの研修を深め前向きに検討したいと思います。

単発的なPRではなく、ごみ減量月間を設けるとか、ごみの減量化についての理解を深めてもらうよう考えていかねばと思います。

分別のことで、例えば新聞・チラシの日がありますが、チラシというところと新聞折込の広告だけと混ざっているのではないかと町からお知らせなどの紙もそれに入るなど具体的な形でPRをし、現実に行われること、具体的にやること、また将来的に検討していくことと区別をはっきりして努力していきたいと考えております。

防災無線（役場）



問	情報整備は
答	Pチームで進める

情報化整備は、大変重要な課題であり、ADS

町長答弁

携帯電話の無感地区の解消と、行政が一番早く町民に情報伝達する方法は、防災無線しかありません。放送内容、時間帯など、身近な防災無線整備について伺う。

近隣町村でCATVが無いのは日野町と本町です。費用が高額であることは承知しています。情報過疎にならないためにも取り組む必要がありますが、町長の所見を伺う。

情報化整備について、高速通信の整備がなかなか進んでいません。当町ではDSLが数年前から江尾を中心に2km半径しか利用できません。光通信の民間利用の計画を伺う。



情報通信整備と

19年度予算は

川上 富夫

携帯電話の無感地区整備は、今後とも通信事業者に働きかけを強めて参ります。災害時優先の防災無線ですが、放送内容についても検討し、納得いただける放送に努めます。

地域イントラの開放と無線と融合させた技術など、再度関係機関等と連携を取りながら進めたい。CATV設置については、プロジェクトチームによる作業を進めて参ります。

LSサービスとデジタルテレビを合わせて解消するためには、光ケーブル方式が、最もすぐれたサービスであると考えていますが、多額の費用を有します。

問	どうなる19年度予算
答	健康をテーマにした予算を

19年度予算編成について町

質問

町報で町の財政見直しが示され、町民の皆さんが本当にきびしさを实感され、町民からは議員報酬、職員給与が多すぎるのではないかと申されます。今後、下水道小学校統合等のインフラ整備の実施、人件費の削減等の難局に対して町長の手腕が問われます。

町報で町の財政見直しが示され、町民の皆さんが本当にきびしさを实感され、町民からは議員報酬、職員給与が多すぎるのではないかと申されます。今後、下水道小学校統合等のインフラ整備の実施、人件費の削減等の難局に対して町長の手腕が問われます。

健康をテーマにした予算を



吉原地区農業集落排水処理場

町長答弁 財政推計は、17年度の決算を踏まえて言えば、現状のまま推移した時の状況を出させていただいた。大変厳しい推計となつておるところですが、いかに耐え抜いて、その先の明るい江府町づくりに向けて努力ができるかという正念場にはいつていきます。基金繰り入れを行なわない予算の編成を大きな目標としていきます。19年度においては、小学校統合に伴う学校施設の整備を重点事業として位置づけ、又特別会計においては宮市地区から下水道整備を順次進めていきます。町民一人ひとりの健康が、地域の健康へとつながり、それが町の健康につながる。この健康をテーマにした町づくりを進めたい。

町内事務調査報告書

総務経済常任委員会

調査日 平成18年11月28日

行財政改革

町税の75%は中国電力(株) 侯野川発電所の固定資産税であり、毎年約6%弱減少しており、収入の約4割をしめる地方交付税については、人口と面積を基本に算定する新型交付税の来年度導入

が論議されている昨今、交付税の抑制は必至である。算定の基礎となる人口等の減少が見込まれることや、国の三位一体の改革による見直しにより、交付税削減は必至であり、厳しい財政の中、限られた財源の有効活用による

行財政改革の進捗は

第4次総合計画の施策の推進と、町民と一体となつた一層の行財政改革をされた。また、行財政改革推進組織である、まちづくり推進委員会、まちづくり町民会議の協議内容、方法等充分検討されると共に行政、議会が一体となつた取組みができるよう議会にも速やかに情報提供いただきたい。

サントリーの雇用等の状況

江府町誘致企業サントリー天然水(株) 奥大山ブナの森工場の求人応募状況は、総応募数585名。

媒体別応募者数、江府町チラシ206名、サントリーホームページ17

0名、鳥取県チラシ62名、新聞123名、真庭チラシ3名、その他21名であった。地元江府町応募者は60名。地元出身者の採用を望むものです。サントリーの誘致に伴い、相乗効果等メリットを追究し、町財政の財源確保に努力する必要がある。

防災情報センターの管理運営

管理運営は、教育委員会でおこなわれているが、防災施設としての活用が少ない。住民を巻き込んだ防災訓練等実施されたい。

町行造林の管理

農業振興対策として公営森林造成1000ha達成記念(昭和57年11月)以来24年町公有林1765・57ha町持分面積は568・83ha(平成18年6月町政)となつた。林業の採算性は大幅に低下し、林業生産活動も停滞しているが、森林の有する多面的機能発揮のため維持管理に努められたい。

町道の維持管理

降雨時等における落石の危険箇所があるが、適切な対応を行い事故防止に努めるとともに、整備等検討されたい。



建設が進むサントリー「奥大山ブナの森工場」(笠良原)

教育民政常任委員会

調査日

平成18年11月27日

事務調査

学校いじめ問題

今、全国でいじめによる自殺者が急増している中、町内の各小学校、中学校の実態について各学校の現状と対応について聞き取り調査を行った。現在は各校ともいじめはないとの報告を受けた。

今はないが、学校、地域、家庭がしっかりと連携を取り合つて子供が発信する小さなサインをしっかりとキャッチし、情報を共有しあつて、いじめを無くしていかなければならない。

現地調査

老健施設「あやめ」の運営と管理

町民が切望した老健施設が6月8日開所し、10月末現在39名入所がある中、42名のスタッフで運営されている。この半年間、介護に携わるスタッフの皆さんは、「あやめ」の顔になっています。入所希望が増え、更にスタッフの充実を図りたい。

介護料等費用は、ずいぶん高いと言われているが、民間の他施設に比べ利用しやすい金額であることをピーアールして頂きたい。

明倫小学校施設

校舎は、補強修理は行われているが、突発的な修理等は児童が安心して学校生活が送れるよう、速やかに対応されたい。

「一人一役」のボランティア活動は、人間関係づ



くり役に立ち、伸ばしていただきたい。

子供の国保育園施設

建物が老朽化し、特に屋根の傷みが激しく修繕の必要がある。

0歳児から預かる現状で、トイレ、シャワールの修繕整備が必要である。

子育て支援センターの拠点として、大いに利用されたい。

江尾小学校施設

平成21年度には小学校統合を目的

に大規模改修があるが、児童の学校生活に支障がないよう配慮された。

各校との連携を更に蜜にし、スムーズな統合に向けて、交流も大いにされたい。

チロルの里特別

養護老人ホーム

ア、入居者の診察、検診の地元医療機関との連携を図って頂くことは、今年度から江尾診療所に依頼があり継続された。

イ、利用者に優しい施設づくりは、2階に食堂の増設が計画され、少しずつ改善が見受けられる。

ウ、駐車場等の整備に努められたい。

工、職員が働きやすい職場環境整備をされたい。
オ、ゴミ等焼却炉の購入、

使用については慎まられたい。

企業からの報告

(政治倫理条例関係)

平成18年11月30日付け

平成18年11月30日付け

報告のあった企業

株式会社 かわばた

代表取締役社長

契約の内容

一級町道江尾貝田三ノ沢線道路改良工事 (一工区)

請負の方法

指名競争入札

契約金額

1743万円

企業の考察等

この工事を請負つても、(株)かわばたの業務の主要な部分を占めているとはいえない為。

その他

平成17年度(株)かわばた 完工高5億7495万2千円。

報告のあった企業

株式会社 かわばた

代表取締役社長

契約の内容

平成18年災第523号町道江尾貝田三ノ沢線道路災害復旧工事

請負の方法

指名競争入札

契約金額

519万7500円。

企業の考察等

この工事を請負つても(株)かわばたの業務の主要な部分を占めているとはいえない為。

その他

平成17年度(株)かわばた 完工高5億7495万2千円。



江尾小学校施設調査

地方行政調査報告

(平成18年10月24日～26日)

介護老人保健施設の運営

アンビションうちこ園(愛媛県内子町)

調査目的

規模が類似し、5年前に事業が開始されたうちこ園の運営状況等を調査し、老健施設「あやめ」の運営に活かす。

通所サービス

デイ・ケア40名
職員構成(主なもの)
医師・看護職員・介護職員他53名

施設概要

- うちこ園の規模
入所サービス
長期入所66名
短期入所14名
- ▽療養型2階(17室)
個室6、2人室5、4人室6
- ▽療養室3階(14室)
- 鉄筋コンクリート3階



うちこ園での説明(施設状況)

個室2、2人室5、4人室7
理念
高齢者の自立支援と家庭復帰を目指し「まごころ」と「思いやり」を信条とし、総合介護の提供を行なう。

運営方針

- ▽自分で食べることを大切にしたい食事ケア。
- ▽いつでもどこでも必要時に行える排出ケア。
- ▽ゆつくりゆつかりの入浴ケアを支援し楽しい生活の場の施設運営にする。

考察

91%に当たる73人が入所されており、施設職員の接し方は、大変明るく活気があり、入所者の方々の顔も生き生きしていた。

開所から5年間かかったと言われる職員の意識改革は、施設の看護をするという意識から、介護をする、相手の気持ちになるという心の転換を図り看護師とワーカーが一体となり仕事をしていくことができるようになっていく

たことである。

「あやめ」の運営においても、職員総合の連携や研修を重ね、共に心をよりそわせ、人間らしい理性を磨き、心から微笑み入所者自らが生きる実感と癒しの気持ちが持てる明るい施設にならなければならない。



うちこ園での説明(運営状況)

高齢者福祉産業と有償ボランティア輸送事業

(徳島県上勝町)

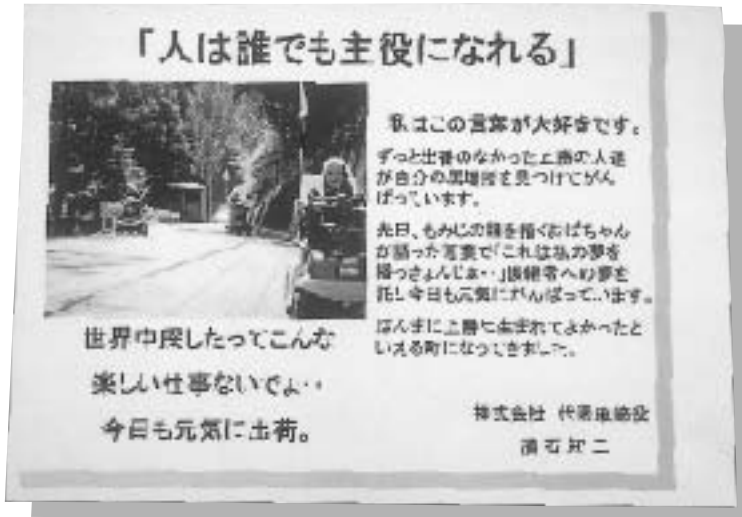
調査目的

上勝町におけるいりどり事業、構造改革特区事業などの取組を調査し、江府町の町づくりについて。

小さな町の大変身

標高1000〜7000mの間に55の集落が点在す

る町である。昭和56年の異常寒波により、殆どのみかん、ゆずが枯死し、これを契機に町づくりと町の活性化の課題に「若者定住」を位置づけ、農協、町、普及所が、一生涯命取り組んだ結果、彩(いりどり)事業など新



しい産業が生まれ山あいの町に笑顔が咲いた。
 「彩」とは、紅葉、南天などの葉っぱや、桜、梅の花などで、料理のつま物にする材料として商品化したものです。
 生産物は軽量で、女性や年配の方々に喜ばれ、おばあちゃんの葉っぱビジネスで平成17年度の販

売額は2億5千万円に達している。
 株式会社いろどりと生産者、JA上勝支所が一体となり運営されている。
有償ボランティア
特区事業
 路線バスが撤退したところにより、構造改革特区の認定を受け、社会福祉協議会に委託して、交通

弱者の移動手段として自家用車を利用して、買い物等の移動サービスを1km百円でこなしている。

考察

彩事業の成功した理由は、「葉っぱ」を「つま物」として商品化され、それをブランド化された当時の営農指導員横石氏のひらめきである。

地域の魅力を、価値として商品に結びつけ自信を持ちブランド化する。

町や地域の自慢を情報発信し、いい流れを呼び込むことが必要であると実感した。

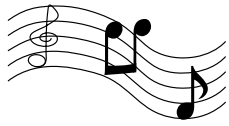
江府町においても、町内の魅力ある自然環境等を外に向けPRすると共に、町の特徴、資源をどのように活かすが今後の江府町存続のキーポイントである。

特区事業においても、高齢化が進むことによる交通の確保、小学校統合における児童の通学方法等、検討の際に参考にすることも必要である。

陳情の結果

みなさんから提出のあった陳情を常任委員会で審査し、委員長の報告を受け、12月定例議会本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件名	審議結果
教育基本法「改正」法案の廃案を求める意見書の採択と教育基本法の理念を学校と社会に生かすことを求める陳情	不採択
日本郵政公社の郵便局再編計画に関する陳情書	採択
間伐材搬出促進に関する陳情書	採択
住民の暮らしを守り、公共サービス拡大を求める陳情書	趣旨採択
「保育・学童保育・子育て支援施策の拡大と予算の大幅増額」を求める意見書提出の陳情書	趣旨採択
安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師の増員を求める陳情書	趣旨採択
安心してかかる医療保障の充実を求める陳情書	趣旨採択
介護保険制度の改善を求める国への陳情書	趣旨採択
教育基本法改正案の廃案を求める陳情書	不採択
地方税制改正に伴う住民負担増の軽減についての陳情	趣旨採択
教育基本法改正に関する意見書の提出について	不採択



成人式をむかえて 林 正代 (御机)



私は今年1月に成人式をむかえました。少し大人になったのですが、どうしてもあきらめれない夢があります。それは、小さい頃から想い続けてきた「歌を、いろんな人に聞いてもらう事」です。今は米子を中心に活動をしていて、ライブやオリジナル曲を作ったりで、いそがしく楽しい毎日を送っています。

オリジナルを作るにあたって、「何度も失敗しては」、「いいメロディーを考えては」、頭を悩ませる事が多いのですが、戦友のバンドメンバーではげまし合い、先輩バンドさんにあとおししてもらい、たくさんの方からの応援を受け、少しずつ完成に近づいています。近日、山陰で活動されている先輩バンドさんたちとCDを制作して販売する事が決まりました。ますますオリジナル作りに気合いが入っています。

未来への不安も少しはありますが、今は大きな期待があります。やっとみつけた自分の輝ける場所なので大切にしていけます。目標は、県外に出て、活動範囲を広げていく事です。ハタチになって、夢みtainな事を言っているのかもしれませんが、自分が輝ける場所に居たいから、私は夢を追いかけたいと思います。

ひと言



北村 勇介 (助沢)

一歩一歩を大切に



成人式を迎えて、大人の仲間入りが出来たと同時に、責任の重さを感じるしだいです。

高校を卒業して2年今私は、目標に向かって、日々努力をしています。働きながら、仕事を覚えるのは当然の事ですが、その他に、人間関係やいろいろと学ぶことの多い毎日です。今まで両親には、心配をかけた事もありますが、大人に向かってやっと歩き出した自分ですが、誰から見られても恥ずかしくないよう、一歩一歩を大切にしたいと思います。これから先いろいろな事にぶつかると思いますが、その経験を土台にして、頑張りたいと思います。暗いニュースの多い世の中「心の中こそ美しい」それが大切なような気がします。もっと心にゆとりを持って、思いやる気持ちを忘れてはいけないと思います。

社会に出ても勉強することばかりですが、笑顔を忘れず、自分の行動には責任を持って、少しでも目標に近づける様に頑張りたいと思います。

式典では、サプライズに感動しました。私も地元で頑張りますので、よろしくお願い致します。

あとがき

年が明けても、物騒な事件が連日報道されています。一体この国はどうなって行くのだろう。安倍総理の言う「美しい国日本」は果たして…。

昨年来、北海道夕張市の財政破綻報道がされていますが、どこの自治体も似たりよったりでしょう。本町は、しっかりと情報を公開してカラ元気でも頑張つて、自立した「美しい町江府町」へしていきたいものです。

今年選挙の年、4月の統一地方選から7月の参議院選挙と、にぎやかになります。候補者の政策をじっくりと聞き、大切な権利を行使しましょう。

長岡 邦一

議会広報調査特別委員会

- 委員長 池田成弘
- 副委員長 川上富夫
- 委員 田中幹啓
- 委員 日野尾優
- 委員 長岡邦一